

# 富士山憲章 Newsletter

2020

3

No.131

富士吉田市 新倉浅間公園より

写真提供 山梨県富士山レンジャー

## 第17回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に向けた意識や関心を深め、美しい富士山を将来にわたり守り引き継ぐことを決意した「富士山憲章」の普及定着を図るため、富士山にあてた年賀状を募集しました。39都道府県から1169点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞3点、優秀賞6点、審査員長賞1点、審査員特別賞4点、企画力賞2点、表現力賞2点、メッセージ賞2点を含めた入選200点を決定いたしました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

### 審査員

- 審査員長** 櫻井 孝美 氏 (安井賞受賞画家)
- 審査員** 松島 仁 氏 (静岡県富士山世界遺産センター 教授)
- 五十嵐 哲也 氏 (山梨県富士技術支援センター 主幹研究員)
- 鈴木 文晃 氏 (山梨県富士技術支援センター 主任研究員)
- 瀧澤 智子 氏 (山梨県立美術館 主査・教育主事)
- 小倉 良二 氏 (山梨県立富士山世界遺産センター 副所長)

### 審査員 総評

- ◆ 200点中20点が賞の対象で、1割を選ぶことは選外作品も心残りになる。200点とも、とてもワクワク心に響く作品であった。作者の制作プロセスを想像できる様な楽しい嬉しい作品ばかりであった。
- ◆ 富士山が、さまざまな時間や天候のなかで魅せてくれる美しい表現を、ときに鮮やかな、ときにシックな色調の中に再現している作品が多く、楽しませていただいた。小学生の作品の中に環境へのメッセージが含まれているのも心強かった。
- ◆ 富士山という一つの存在に託され、また想起される驚くほど様々なメッセージや記憶、印象的なビジョンが、多様な姿で届けられ、表現されたはがきを見るのは、とても楽しい経験であった。

### 最優秀賞



渡邊 甲惟 (山梨県)

200点の中で一番インパクトのある作品だろう。富士山の台形を擬人化し、人の頭、顔に色面(多色)分割的な抽象的表現で、メッセージも心に伝わる。文章も心に伝わる。文字の表現もアイデアいっぱい良い。



寺田 奈央加 (愛知県)

まだ見ぬ富士山への憧れ、美しい夕闇に溶け込むおぼろげな富士山の姿がよく描かれている。

夕暮れのグラデーションが豊かな後景と平面的・図案的な前景の対比が見事。しかも両者が不協和音をきたさず調和している。



山口 あゆみ (三重県)

富士山への慈しみに溢れる一枚。いたわりの心が画にも詞にも感じられる。

普段は父や母に例えられる富士山が幼子のように大切にされる存在とする、優しい眼差しが印象的だった。

# 優秀賞



梶原 伊織 (山梨県)



松井 南菜子 (山梨県)



田代 薫子 (神奈川県)



堀内 開斗 (山梨県)



中垣 佳穂 (愛知県)



杉山 しげ行 (新潟県)

# 審査員長賞



高山 香歩 (山梨県)

# 審査員特別賞



深澤 妃和 (山梨県)



渡邊 みくる (山梨県)

# 企画力賞



早川 大貴 (山梨県)



渡辺 一毅 (山梨県)



宮下 かなで (山梨県)



天がた ちなつ (山梨県)

# メッセージ賞



武藤 苺香 (山梨県)



梶原 旅人 (山梨県)

# 表現力賞



竹本 智織 (山梨県)



菊田 かれん (山梨県)

# 富士山憲章ニユース

## 第2回 富士山エコトレッキング

本年度、第1回目の富士山エコトレッキングは、46名の方にご応募して頂いたにも関わらず、悪天候により中止になってしまいました。

11月2日に行われた第2回富士山エコトレッキングは幸い天候にも恵まれ、31名の参加者と、世界遺産富士山の構成資産である旧胎内(船津胎内樹型)から新胎内(吉田胎内樹型)、そして中ノ茶屋までの古道を散策しました。



解説を聞いている参加者の皆さん



船津胎内をくぐりました

普段はあまり入る機会のない胎内樹型をくぐり、富士講などに関する解説を聞きながらのトレッキングは、参加者の皆さんにも楽しんで頂けました。午後には、富士山レンジャーによる環境学習会を行ったり、富士山憲章について学んだりした後、参加者全員で富士山世界遺産センター周辺の清掃活動を行いました。短時間ではありましたが、実際に不法投棄の現状を目にし、それをきれいにする事で、参加者の皆さんに富士山の環境保全の必要性を再認識してもらう良い機会になったと思います。

### 富士山麓古タイヤ等

#### 不法投棄防止集中キャンペーン

今回の「富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーン」は河口湖シヨピングセンターROPPでを行いました。例年は、啓発物品を来場者の方に配りながら不法投棄防止を呼びかけていますが、今年と呼びかけに加え、会場付近の国道の清掃活動も実施しました。その結果、370名の方へ啓発を行うとともに、可燃ゴミ約4kg、不燃ゴミ約1kgを回収することができました。冬タイヤへの換装期に自動車整備振興会の協力を得て行っているこのキャンペーン

ンですが、最近は古タイヤだけでなく、冷蔵庫などの家電製品や一般ゴミなどの不法投棄が目立っています。特に地元の方に対して不法投棄の防止を呼びかけることは、不法投棄を抑止する効果があるだけでなく、地域の監視の目を増やす効果もあると考えています。地域をあげて不法投棄の防止に取り組んでいくことができれば、よりよい地域作りにつながるのではないのでしょうか。



啓発物品を受け取ってくれる来館者の方

### 富士山憲章 国道清掃キャンペーン

本年度の「富士山憲章 国道清掃キャンペーン」は、富士山クラブが実施する「ぐるり富士山風景街道一周清掃2019」と連携を図る形で、11月23日の勤労感謝の日に実施しました。当日は静岡県との県境付近から本栖

チーン脱着所付近の清掃活動を実施しました。参加者60名で約2時間清掃活動を行った結果、可燃ゴミが150kg、不燃ゴミが30kgと、非常に多くのゴミを拾うことができました。ゴミの種類としては、お弁当の容器や、ペットボトルなど一般ゴミが多くありました。



こんなにゴミが集まりました



開会式の様子

一人ひとりが環境保全のための意識をもち行動することで、このようなゴミも減っていくのではないかと思います。富士山を末長く後世へ引き継いで行くため、ぜひ皆様にもご協力頂ければ幸いです。

# 2019年10月～2020年1月 富士山レンジャー活動報告

## 山静神合同不法投棄防止キャンペーン

山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止キャンペーンが令和元年10月29日に開催されました。今年はいくくの雨模様でしたが、道の駅富士吉田には多くの観光客が訪れており、各県の環境課や警察、環境省などが啓発物品を配りながら不法投棄防止を呼び掛けました。

レンジャーは巡回中に不法投棄を発見した場合、自治体と関係機関へ報告しており、昨年12月までに90件発見しました。きれいな富士山のためにも不法投棄防止のご協力をお願いします。



多くの人へ不法投棄防止を呼び掛けました

## 富士山青木ヶ原樹海等 エコツアーガイドライン推進協議会

令和元年12月20日、富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会が開催されました。当協議会は、山梨県、環境省、有識者、関係行政機関、エコツアー業者等により構成されており、青木ヶ原樹海などの自然環境を守るとともに、質の高いガイドを養成、環境に配慮したツアーの実施を目的として設置されています。



協議会では様々な意見が飛び交いました

年々、加入団体が増えており、活発な議論が交わされることで、ガイドラインの重要性を改めて確認する場となりました。

富士山レンジャーからは、本年度の青木ヶ原樹海における巡回記録をまとめ、発見・啓発した問題行為などを報告しました。しかし、まだまだ一般の観光客には青木ヶ原樹海を散策すると

きのマナーやルールが周知されていません。今後も富士山の豊かな自然を保全するため、青木ヶ原樹海を利用する皆さんの人にガイドラインを周知徹底するよう、努力していきます。

## 富士山レンジャー写真展

今年度の富士山レンジャー写真展は、昨年9月に富士山レーダードーム館にて第16回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～との共同展示実施や、12月にラザウォーク甲斐双葉で初展示を実施するなど、新しい試みを取り入れながら行い、県内外計16箇所に開催することができました。これもひとえに快く会場を提供してくださいました皆様および会場へ足をお運びいただいた皆様のおかげです。この場を借りて、御礼申し上げます。また来年度も写真展の開催を予定していますので、詳細については追ってホームページをご確認ください。



ラザウォーク甲斐双葉にて多くの方にご覧いただきました

## 冬山登山啓発



どんな登山行程か、装備はちゃんとしているか、確認していきます

令和元年10月から「山梨県登山の安全の確保に関する条例」が施行され、富士山の3000M以上のエリア、南アルプス、八ヶ岳では登山届の提出が義務化されました。

山梨県と県警では毎年、厳冬期の富士登山の啓発活動を行っています。登山届を出すのはもちろんですが、登山届を出したからといって、それが富士山へ登っていいという許可になるわけではありません。あくまでも冬季閉鎖中であることをご理解ください。

冬山事故の大きな原因は、自分の技術を過信して慢心することです。危険を感じたらすぐさま引き返すようにしてください。遭難事故防止のためにも登山届を必ず提出し、安全登山をお願いしています。

# そぞろ あるき

再開！  
&新章スタート

ぐるり・ぶらり・ふじめぐり ①



図①山梨県立富士山世界遺産センター 展望台より  
黄色の矢印が「吉田大沢」。白い矢印が「白山岳」。

不定期連載して参りました「そぞろあるき」、ちょっと仕切り直して再開です。山梨県富士山レンジャーの巡回エリアである富士北麓を中心に、近く遠く富士を望みながら、ときにはぶらりと、足元の史跡にも立ち寄って、過去と現在とを歩き来もしつつ、「そぞろあるき」してみたいと思います。

八面玲瓏と讃えられる富士山。誰もが姿を想い浮かべて単純に図像化できるほどの山容は広く親しまれています。謂わば全方位的に確立されているその「アイデンティティ」は、自然存在としての



図②富士山北面鳥瞰図「吉田口登山道」が頂へと延びる

富士火山の特質と、その土台の上に文化を育んできた人間の営みとが織りなす「歴史の労作」と言ってもいいかもしれません。

さて、その富士山。実際には東西南北でずいぶん趣が変わります。「へえ、こんなふうにも見えるのか!」と、改めて実見した富士の姿に驚いた経験をお持ちの方も多いのではないでしょうか。この千変万化する富士の見え方のちよつとした違いに、「この角度からの、この見え方がたまらない」といった、恋しい相手に対する一種の偏愛にも似たこだわりをもって——いざ出発です。

始めはやはり、山梨県立富士山世界遺産センター(以下、「セン



図③大嵐村外六ヶ村絵図(センター企画展「吉田口登山道の驪ヶ馬場と流鏝馬」展示解説より)

ター」と略記)からです。ほぼ真南に富士山を望みます(図①・②)。山には、眺める位置により向きも変わってくる、それぞれの「顔」があるようです。富士山の場合は更に「眼」があり、しかも三六〇度、常に「眼」が合っている感覚をおぼえます。ここでいうと、彫の深い「吉田大沢」が顔の正面、山頂部の「白山岳」が眼に相当します。白山岳が尖っているので、少し片眉を上げて此方を見据えているようにも見えませんか? 昔の村絵図においても、当時の人たちもこの特徴をよく把握していて、日々暮らす自分たちの眺めている富士の姿を正確に描いたことが解ります(図③)。足元に目を移せば、今も所々に見られ



図④道標をもとにした作品(浜田彰三氏 制作)

る「道標」を手掛かりに、富士とともにある人々のかつての暮らしを垣間見ることが出来ます。センターにも道標を模した作品があり、「右たきぎとりみち 左御山のぼりみち」と刻まれています(図④)。もともとあった石造物は、吉田口登山道下部の「中ノ茶屋」にあります。「御山」は当地で富士山のこと。富士山が登拝信仰、日常生活共に、人々と密接に関わっていたことが伺えます。古代、「甲斐」と呼ばれた山梨県。「甲斐」の語源は道と道とが交わる「交ひ」からとも。「甲斐国」に属した富士北麓も、富士を仰ぎ富士に見おろされ、様々なヒトとモノとが行き交う舞台であったのでしょう。

# ☆春のオススメ！ 『桜と河口湖と富士山』

今回は、河口湖から見る富士山と桜の美しい風景をお勧めします。富士北麓地域は、標高800mから1000m付近に位置し、甲府盆地よりも気温が5度前後低くなります。そのため春の訪れ、花見の機会も遅れて到来します。しかし、晴れば桜だけではなく美しい富士山とのコントラストを楽しめるチャンスもあるのです。その中でもオススメするのは、河口湖北岸、河口湖円形ホール中心に開催される「富士・河口湖さくら祭り」(4月開催・期間要確認)です。オススメする理由は次の3点のとおりです。

● 期間中は無料駐車場が有ります。  
● 桜のスケール感が満喫できます。

● (湖畔沿いに約200本のソメイヨシノが植えられ豪華絢爛です。)

● 湖畔には富士山がバッチリです。(天気が良ければ素晴らしい景色です。)

また、さくら祭り期間中には、景色が楽しめるだけでなく、多くの店舗が出店しているため、スイーツやグルメを堪能したり、雑貨店をめぐり、オリジナルグッズを発見、なんて楽しみを見つかることも可能です。暖かい日には、ウォーキングコースを歩いて、満開の桜を心ゆくまで味わってはいかがでしょうか。

昼間だけで物足りない方は、日没から21時までの湖畔のライトアップも要チェック。幻想的な世界を堪能すれば、もうあなたも富士北麓ファン、リピーターになること必至です。会場周辺には、芸術やさまざまな体験ができる施設も揃っています。

また少し足をのびして他の桜スポットをまわるのも良いでしょう。春を肌で感じることもできる、大石公園までのウォーキングもオススメです。距離は2.5キロ、時間にして約1時間弱の距離です。途中、車道を歩くので注意が必要ですが、長崎公園を経由し、湖畔沿いを歩きながら春の富士山を眺められます。

大石公園に着いた後も湖畔の遊歩道沿いに整備された芝桜、通称「花街道」を楽しみながら富士山、河口湖を堪能できます。車ならさくら祭り会場から数分で大石公園です。公園と隣接して大型無料駐車場が用意されているのでとても便利です。

ただ、日によってまだまだ寒い日があります。暖かい服装でお越しください。

あとひとつお願いがあります。富士北麓地域の自然環境を守るためにも、草花を取ったり、ゴミを捨てるなどのマナー違反をなさらず、是非、富士北麓エリアの春、自然体験を楽しみにお

越してください。

「バスでのアクセス」

河口湖駅から富士急バス

Red Line (周遊バス) で約20分。

「河口湖猿まわし劇場

木の花美術館」バス停で下車。

「お問い合わせ先」

富士河口湖町役場 観光課

☎ 055517213168



## 〔大石公園〕

公園内にはおしゃれなカフェ、地域の野菜やフルーツ、お土産が販売されている売店があります。晴れていれば素晴らしい景色が見られるスポットです。隣接して大型無料駐車場が有ります。

## 〔さくら祭り会場〕

案内板で公園内や桜の花について説明されています。



赤線が2.5kmのウォーキングコース

出典：国土地理院

# れんじゃー写真缶 秋・冬編



精進パノラマ台より



ハグロトンボ



マーキング回収



竜ヶ岳より



カワセミ



アケビ



レンジャー写真展



東海自然歩道点検



不法投棄防止CP



不法投棄



サラシナシヨウマ



エコトレッキング



エコツアーGL推進協議会に向けた下見



エビネの仲間



謹賀展示



富士山が閉山している秋・冬の間でも、レンジャーは山麓や富士山周辺の山々の巡回や地元学校などへの環境学習、ボランティアと連携した清掃活動、写真展の開催など精力的に活動しています。そんな活動の一部を北麓の自然と共に写真でご紹介します。



アカヤマドリ



ブナの大木



ツチガエル



環境学習会



←「れんじゃー写真缶」は富士山レンジャーの活動や目にした風景などの一部をギュッと詰めたフォトアルバムです。ぜひ左記サイトも覗いてみて下さい。「富士山レンジャー通信」で検索☆



# 山ごはんのすすめ

## Vol.3 ごはん、みそ汁、漬物、アジの干物



山で炊くご飯に即席みそ汁、漬物、アジの干物というシンプルなメニューです。ご飯を炊くのに使ったのはトランギア社のメスティンという四角いアルミ製の飯ごうです。軽く、安価で、ごはんが美味しく炊けるだけでなく、ご飯以外の料理にも使うことが出来るし、お弁当箱としても使うことが出来ます。四角いのでお湯を沸かしてカップに注ぐときにもこぼれにくく、ザックの中にしまう時も収まりが良いです。ただ、本体と蓋のフチが尖っているため、購入したらまずはやすりをかけないと、調理中にケガをする恐れがあります。火は前回、前々回と同じく山岳用のガスカートリッジに小さなガスバーナーを使いました。



### ごはんの炊き方(1~2人分)

1. 米と水を飯ごうに入れて強火にかけます。
2. 沸騰したら弱火にして10分炊きます。
3. 火を止めて10分蒸らして出来上がり。

これだけなのですが、実は簡単ではありません。上手に炊けるまでには少々試行錯誤が必要で……。

**お米と水の量**：米は家でといて来たものか、無洗米を使います。お米の量は、この飯ごうの場合1合半までです。手持ちの鍋などで炊く場合は、蓋が持ち上がらないように石などを乗せて炊きます。水の量は米の量の1~2割多く準備します。家で量ってペットボトルで持ってくると現地での作業が楽ですが、目分量で量る方法もあります。お米の上に手を乗せて手の甲の真ん中あたりに水面が来るくらいまで水を入れます。ただ、今回紹介しているような携帯用の飯ごうや鍋の場合、手を広げて入れることができないので、そこは加減が必要です。



**火加減**：火加減もまたその日の気温や風、標高などの条件によっても違ってくるのであれこれ研究してみてください。実は私も上の炊き方にたどり着く前に、教えてもらったやり方は、沸騰してから「中火にして5分→弱火にして4分→火を止めて10分蒸らす」でした。しかし、沸騰すると激しく吹きこぼれて、中火にしても吹きこぼれ続けるのに困り、沸騰したあと一気に弱火する方法に変えてみました。炊く時間を少し長くすることでお米に芯が残らなかったので、皆さんも是非試してみてください。

### みそ汁と漬物

家でみそ玉を作って持ってきてお湯を注いでみそ汁に。みそ玉の作り方は……

1. スプーン1杯くらいのみそを、容器に取る。
2. かつおぶしと刻んだねぎを容器のみそに入れて混ぜる。かつおぶしとねぎの割合が多いほうが美味しいです。かつおぶしの代わりにほんだしでも。
3. ラップに包む。
4. 漬物は好きなものを好きなだけ。上の写真はキムチですが、1合半のご飯をペロリと平らげてしまいました。



ごはん、みそ汁、漬物とくれば焼き魚！アジの干物を焼き網の上に乗せてをバーナーで焼くだけです。



# 富士山世界遺産センターだより12号

富士山世界遺産センターでは、継続的に富士山の総合的な調査を行っています。近時は吉田と南西麓の人穴（静岡県富士宮市）とを結ぶ神野路（人穴道）に焦点を当て、調査活動を続けており、冬の企画展では調査結果の一端を示す展示を行いましたので、これについて報告します。

## 冬の企画展について

令和二年一月一日から二ヶ月間『溶岩洞穴をめぐる信仰』を開催しました。

富士山の山麓には、その火山活動により噴出した溶岩が生成した洞穴が点在しています。北麓では鳴沢溶岩樹型をはじめ計十二カ所が、昭和四年（一九二九）から同七年にかけて、相次いで国の天然記念物に指定されました（鳴沢溶岩樹型は、昭和二十七年に特別天然記念物に指定）。このうち、貞観六年（八六四）の「貞観の大噴火」にともなう青木ヶ原溶岩流が形作った龍宮洞穴（龍宮、富士河口湖町）や、承平七年（九三七）



船津胎内と精進穴の位置（平成24年国土地理院発行20万分の1地図 甲府）

の噴火（剣丸尾第一溶岩流）によると推測される船津胎内樹型（富士河口湖町）、吉田胎内樹型（富士吉田市）は、人々の信仰の対象地となってきました。天然記念物の指定は受けていない青木ヶ原樹海中の精進穴（精進御穴）も同じく信仰の地となったことが分かっています。

冬の企画展では、前記のとおり、信仰の対象地となった船津胎内および精進穴について取り上げました。

それぞれの胎内に関する貴重な資料や、来館者の方が胎内潜を疑似体験することができるよう、胎内の模型も用意しました。胎内潜をする際に必要な膝に当てるわ

らじや、燭台等の貸し出しも行って、当時行っていた胎内潜ができるよう細かい部分まで再現しました。



富士山世界遺産センター企画展 胎内模型

剣丸尾に存在する溶岩洞穴である船津胎内は、丸藤講の祖、高田藤四郎によって信仰の場として開かれました。洞穴の入口を覆うように建っている無戸室浅間神社の境内には、複数の石碑・石仏が建ち並び、開口部の右上に藤四郎の像が安置されています。

一方、青木ヶ原樹海深部にある精進穴は、誓行徳山という行者が洞中での断食行を行い、後に入定を遂げた場所です。徳山が先達を務めた山臣講が利用し、彼

の供養塔を建てました。これら溶岩洞穴を利用した宗教活動を、いつ、だれが創始したのかという点はまだ不明ですが、今後の課題として調査研究を進めていきます。



船津胎内入口



精進穴入口



## 初日の出

新年初の富士山世界遺産センターだよりは「初日の出」と「浅間神社」を紹介いたします。

### ● 「初日の出」

山梨県には富士山があり、その周囲には富士五湖があります。どの湖も美しく、観光地や別荘地として人気です。

その中でも本栖湖から見える富士山は、現在発行されている千円札の裏に描かれており、その姿を一目見ようと多くの人が湖に集まります。特に、初日の出が見られる元旦には普段以上に人が集まります。

元日の深夜三時頃、本栖湖畔に私がお到着した時点で、既に数えきれないほどの車が駐車をしていました。0度という気温に加え、非常に強い風が吹く中、日の出を待っていると、六時三〇分頃に周辺が明るくなりはじめました。

しかし、日が昇るにつれ、深夜には見えていた富士山には雲がかかってくるため、私が想像していた「初日の出」は見ることができませんでした。

残念ですが、天気ばかりはどうすることもできません。大渋滞の中帰路につき、その途中の精進湖から高く上がった太陽を拝みました。

来年の元旦は、日の出に輝く富士山を見られることを今から祈るばかりです。



精進湖から望む太陽

### ● 浅間神社

浅間神社は富士山の神を祭っている神社のことです。今回はそのなかでも笛吹市にある浅間神社と、富士吉田市にある浅間神社を紹介いたします。

笛吹市一宮町にある浅間神社(あさまじんじや)は、貞観七年に成立したとされています。浅間神社のなかでも有名で、戦国大名である武田氏からの崇敬も厚く、武田信玄は、この神社に戦勝祈願をしたこともあります。

徳川家康が甲斐を領有した時代には、家康によりいち早く保護が与えられ、その後も歴代徳川将軍によつ

て社領安堵を受けていました。現在でも、新年には初詣を目的として多くの人々が訪れています。



浅間神社(笛吹市一宮町) 鳥居

富士吉田市にある北口本宮富士浅間神社(きたぐちほんぐうふじせんげんじんじや)も、富士山の神を祭った神社です。荘厳な空間に加え、世界遺産富士山の構成資産の一つとなっていることから、大変人気のあるスポットとなっています。

二〇一九年には、ある旅情報サイトの「人気の神社仏閣ランキング」で第二十一位にランクインしました。

ご紹介した二社以外にも、浅間神社は日本各所に建立されていますので、皆さんも出かけてみてはいかがでしょうか。

### ● センターがアニメに登場？

山梨県立富士山世界遺産センターをモデルとした施設が、アニメ「へやキャン△」に登場しました。

また、へやキャン△主題歌が収録されたCDジャケットにも利用されています。

へやキャン△をご覧いただき、富士山世界遺産センターに興味をお持ちになった方がいましたら、是非ご来館ください。

### ● 御朱印

現在幅広い年代にブームとなっている御朱印ですが、富士山世界遺産センターでは、元日から一月末日まで、世界遺産富士山の構成資産となっている浅間神社八社からいただいた御朱印を展示しました。それぞれ特徴ある八社の御朱印を一度に見ることができ、来館いただいたお客様に喜んでいただきました。



御朱印展示の様子

## 第17回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～入賞・入選作品展

以下の日程で、入賞・入選作品200点の作品展を行います。富士山への様々な思いのつまった年賀状をぜひ会場でお楽しみください。

- 3月 4日(水)～3月17日(火) ふじさんミュージアム(富士吉田市)  
3月20日(金)～4月 6日(月) 富士山世界遺産センター北館(富士河口湖町)  
4月 8日(水)～4月20日(月) 道の駅なるさわ(鳴沢村)  
4月25日(土)～5月18日(月) 河口湖ショッピングセンターBELL(富士河口湖町)  
6月25日(木)～7月 7日(火) 四季の杜おしの公園 小池邦夫絵手紙美術館(忍野村)  
7月 9日(木)～7月27日(月) 三ツ峠グリーンセンター(西桂町)  
8月 3日(月)～8月31日(月) 山梨中央銀行本店(甲府市)  
9月 2日(水)～9月16日(水) 山中湖村役場(山中湖村)

※各会場の休業・休館日や開館・営業時間に関しては、各会場にお問い合わせください。  
※今後、他の会場でも追加開催する予定です。詳細は次のURLをご覧ください。

[https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/event/no16\\_kinga.html](https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/event/no16_kinga.html)



### 富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれあい、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした、富士山レンジャーによる富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼は一切必要ありません。各種研修にぜひご活用ください。

- 実施日・時間** 原則として平日の毎日(年始年末を除く) 9時30分～15時30分の時間のうち30分～  
**対象** 地域住民、各種団体、企業等、児童、生徒、学生(教員向け研修もあります)  
**定員** 最大50名まで(プログラムの内容により異なります。)  
**申込み** 原則として希望日の1か月前までにお申込みください。  
所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送またはE-MAILにて送付してください。  
申込書につきましては、以下のURLよりダウンロードできます。  
<https://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

#### その他

- ・ 事前の打合せや下見等が必要になる場合があります。
- ・ 業務の都合上、希望日に実施できない場合があります。実施時間、定員に関しては規定外でも相談に応じます。
- ・ 申込み、問合せおよび打合せは責任者が行なってください。旅行業者等による代行は認めません。

## 富士山憲章 (行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

#### ■編集・発行 富士山ボランティアセンター

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1  
(富士山世界遺産センター北館内)  
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114  
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/index.html>